

平成22年9月29日

桑名市就学前施設再編検討委員会 様

桑名市教育委員会
教育長 大橋則久

諮 問 文

近年、少子化に加え、保護者の就労状況の変化等、子どもを取りまく社会環境は大きく様変わりをしてきています。

その結果、本市においても、保護者ニーズが多様化し、就学前教育も大きな転換期を迎えています。

平成19年4月には、就学前教育検討委員会より、最終答申「桑名市における就学前教育の今後のあり方について」が提言されました。

これを受けて、答申において提言された6項目の具現化のため、庁内において桑名市就学前教育推進協議会を設置し、桑名市共通カリキュラムの作成や職員との交流研修を進めてきたところです。

今回、提言の1つである「就学前施設の適正配置に関する基本構想」を更に進めるにあたり、子どもたちの社会性を育むための望ましい集団規模の確保をいかに図っていくかが喫緊の課題となっています。

以上の状況を踏まえ、本市における就学前教育および就学前施設の在り方について、下記のとおり諮問します。

記

諮問事項

- 公立幼稚園の適正配置について
- 幼保一元化の取り組みについて
- 公立幼稚園における学級の適正規模と複数年保育について
- 私立と公立の共存について
- その他の事項について